

# 令和6年度 こども園入園のご案内

## ○入園について

令和6年4月より入園する園児を募集いたします。

申込受付期間：令和5年12月5日(火)～7日(木)

申込受付場所：大潟こども園

※入園願書等は11月21日（火）より、こども園および教育委員会にて配布します。

※村ホームページからもダウンロード可能です。

## 入園手続の必要な方

◇新たに入園する方、令和5年度に2号・3号認定で令和6年度も2号・3号を希望する方

※令和5年度に1号認定を受けて入園している方は、引き続き在園となりますので手続きの必要はありません。

## 支給認定制度について

◇お子さんの年齢や保育の必要性によって、1～3号の種類があります。

〔支給認定区分〕

認定区分	対象となる子ども
1号認定	満3歳以上の就学前の子ども
2号認定	満3歳以上の保育を必要とする子ども
3号認定	満3歳未満の保育を必要とする子ども

## ○保育の必要性の認定

保護者の就労状況により「保育標準時間」と「保育短時間」のいずれかに認定されます。

区分	就労時間(1ヵ月あたり)
保育標準時間	120時間以上
保育短時間	64時間以上 120時間未満

例) 1ヵ月あたり64時間以上の就労→1日4時間以上かつ週4日以上

## ○保育を必要とする事由

保育認定(2号・3号)できるのは、下記の保育の必要性の認定基準に該当する場合です。

- ① 1ヵ月64時間以上の就労（正職員、パートタイム、自営業、農業など）
- ② 妊娠、出産（概ね産前産後各8週間程度）
- ③ 保護者の疾病、障がい
- ④ 同居又は長期入院等している親族の介護・看護
- ⑤ 災害復旧
- ⑥ 求職活動
- ⑦ 就学
- ⑧ 虐待やDVのおそれがあること
- ⑨ 育児休業取得中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること
- ⑩ その他、上記に類する状態として村が認める場合

## ○認定区分の変更について

農繁期が終わり保育を必要としなくなった場合などは、年度途中で2号から1号に切り替えることができます。逆に、年度途中で1号から2号へ切り替えることは原則としてできません。ただし、家庭環境や就労状況の変化など年度当初に予測できない事情によって保育が必要になった場合は、教育委員会まで個別にご相談いただき、面談や理由書の提出、利用調整委員会の審査を経て切り替えが可能になる場合があります。

## ○保育料について

1号・2号認定子どもの保育料は令和元年10月より無償化されました。

3号認定子どもの保育料は、世帯の市町村民税所得割額の合算で算定します。（算定期間は8月までは前年度の市町村民税額で算定し、9月以降は当年度の市町村民税額で算定します。）

保育料については別紙の表をご参照ください。

### ※世帯の認定について

所得階層区分の判定にあたっては、生計を一にする世帯の合算となりますので、同居する祖父母等の税額も合算されます。また、園児の父母が専従者等の場合でかつ村民税所得割額が77,101円未満の場合や、父母を扶養する人がいる場合は、別居であっても事業主・扶養者の税額も合算し算定します。

※就労証明書等の提出が必須です。